

最上位の目的

すべては子供の幸福のために

～自己肯定感の育成・向上～

学校教育目標

考える子 ◎やさしい子 元気な子

目指す学校像

こどもが生き生きと活動する学校

関係性(つながり)

・自分も他者も大切にできる教育

有能感(できた)

・自分の成長を実感できる教育

自発性(自分から)

・自分の意見が尊重され、意思決定できる教育

目指す児童像

- ・自分からあいさつができる子
- ・他者を理解し認め合う子
- ・自ら心身を鍛える子
- ・粘り強く取り組む子
- ・自分の考えを伝えられる子

目指す教師像

- ・「よいところをもっとよく」を基本に実践を進められる教師
- ・「豊かなふれあい・確かな児童理解・きめ細かな指導」を徹底する教師
- ・使命感をもち、子供に寄り添える教師
- ・学校にかかわるすべての人から信頼される教師

目指す地域・家庭像

- ・こどものことを第一に考える地域・家庭
- ・こどもの自立をあたかく見守る地域・家庭
- ・こどものために学校と協力する地域・家庭
- ・こどもの手本となる地域・家庭
- ・コミュニティスクールを核として学びの好循環を生み出す地域・家庭

確かな学力の育成

- ・「主体的・対話的で深い学び」「ICT 教育の推進」等の推進
- ・交換授業、教科担任制によるきめ細やかな指導
- ・東京ベーシックドリル、デジタル教材の活用と図書館機能の充実

豊かな心の育成

- ・基本的生活習慣の定着
- ・あいさつ週間、あいさつ運動の充実
- ・道徳の授業改善および特別活動の充実

健やかな体の育成

- ・9 年間を通した健康教育の充実
- ・小平体力向上のプログラム実施
- ・食育の推進

安全・安心な学校

- ・施設設備の日常、定期、臨時点検
- ・交通安全指導の徹底
- ・実践的な避難訓練等の実施

教育相談・特別支援教育の充実

- ・学習の見通しの明確化(全学級ホワイトボードの活用)
- ・個別支援の充実
- ・特別支援教室との連携

家庭・地域との連携

- ・コミュニティスクール、PTA、青少対との連携強化
- ・小中、幼保小の連携強化
- ・HP 等の活用による情報発信

二次小平市教育振興基本計画(令和5年度～令和14年度) 教育の目標

【自立】自分を認め、他者を認め、一人ひとりの子どもの良さや可能性を最大限に引き出す。

【共生】学校・家庭・地域がつながり、持続可能な教育環境をつくる。

【貢献】一生涯にわたって学び受け継がれる小平の教育の好循環をつくる。